

18歳意識調査 「第15回 - 国政選挙 - 」詳細版

日本財団 2019年6月27日

目次

調査概要	3		
今年7月の国政選挙の投票行動	5	女性議員の比率についての考えを選んだ理由	17
今年7月の国政選挙の投票行動を選んだ理由	6	国会議員の高齢多選についての考え	19
投票の際の候補者選びの基準	8	国会議員の高齢多選についての考えを選んだ理由	20
候補者や政党を選ぶ時の情報媒体	10	国会議員の世襲についての考え	22
直近の国政選挙の投票率についての考え	12	国会議員の世襲についての考えを選んだ理由	23
国会議員の定数についての考え	13	国会議員になることについての考え	25
国会議員の定数についての考えを選んだ理由	14	若者の投票率の低さについての考え	26
女性議員の比率についての考え	16	若者が選挙や政治に関心を持つための施策	27

調査概要「18歳意識調査」 - 国政選挙 -

調査対象 全国の17歳～19歳男女

回答数 1,000（下記の割付にて回収）

	17歳	18歳	19歳	計
男性	166	167	167	500
女性	166	167	167	500
合計	332	334	334	1,000

調査除外 下記の関係者は調査から除外
印刷業・出版業/マスコミ・メディア関連/
情報提供サービス・調査業/広告業

実施期間 2019年5月31日（金）～ 6月5日（水）

調査手法 インターネット調査

※注記：本編の図表の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない。

詳細

今年7月の国政選挙の投票行動

18～19歳
668人

- 全体では、7月に行われる国政選挙の投票に「行く」と考えている人は49.7%、「決めていない」は35.2%、「行かない」は15.1%となっている。
- 全体と比較すると、直近の国政選挙の投票率が「低い」と感じている人は、7月の国政選挙の投票に「行く」が57.9%と高い。また、若者の投票率が低いことに「問題だ」と思う人も、7月の国政選挙の投票に「行く」とする割合が56.3%と全体と比べて高くなっている。

Q1.7月に国政選挙（国会議員を選出する選挙）が行われますが、あなたは投票に行きますか。（単数回答）（n=668）
※18～19歳

		(n)	行く	決めていない	行かない	(%)
全体		(668)	49.7	35.2	15.1	
Q5.直近の国政選挙の投票率	高い	(25)	76.0	8.0	16.0	
	これでもいい	(56)	39.3	37.5	23.2	
	低い	(435)	57.9	30.6	11.5	
	わからない	(152)	25.7	52.0	22.4	
Q6.国会議員の定数	増やした方がよい	(30)	50.0	33.3	16.7	
	現状でよい	(192)	55.2	33.9	10.9	
	減らした方がよい	(266)	54.9	31.6	13.5	
	わからない	(180)	36.1	42.2	21.7	
Q8.女性議員比率	増えたほうがよい	(402)	53.2	33.1	13.7	
	今のままでよい	(93)	57.0	25.8	17.2	
	減ったほうがよい	(11)	27.3	54.5	18.2	
	わからない	(162)	38.3	44.4	17.3	
Q10.高齢多選	問題だ	(384)	51.6	33.1	15.4	
	問題ではない	(125)	56.8	31.2	12.0	
	わからない	(159)	39.6	43.4	17.0	
Q12.世襲	問題だ	(237)	58.6	30.0	11.4	
	問題ではない	(104)	62.5	27.9	9.6	
	わからない	(327)	39.1	41.3	19.6	
Q14.国会議員志望	はい	(26)	80.8	7.7	11.5	
	いいえ	(642)	48.4	36.3	15.3	
Q15.若者の投票率の低いこと	問題だ	(526)	56.3	31.4	12.4	
	問題ではない	(51)	33.3	37.3	29.4	
	わからない	(91)	20.9	56.0	23.1	
性別	男性	(334)	54.2	34.7	11.1	
	女性	(334)	45.2	35.6	19.2	

*赤字はベースがn=29以下のため参考値

今年7月の国政選挙に行く理由

18～19歳
668人

- 国政選挙の投票に行く理由として、「自分の権利なので、しっかりと使いたい」といった権利の行使や「一国民としての義務」と選挙権を義務と捉え責任を果たしたいという声があげられた。また、「たった一票でも、自分の意見を伝える為には必要だ」といった日本の将来を考え意思表示したいという意見や「10代の投票率が低いから」といった若者の政治離れを危惧する声があった。
- 「選挙がどのようなものをまずは知りたい」といった興味本位な意見も。

Q2.前問で、「行く」とお答えになった理由をお書きください。（自由回答）（n=332）

※18～19歳

投票に行く理由

投票する権利がある

- 自分の権利なので、しっかりと使いたいと思ったことと、国のことを真剣に考え、参加したいと思ったから（男性）
- 権利を行使しなければならぬと考えているため（男性）
- 選挙権があり、若い世代が行くことに意味があると思うから（女性）
- 選挙権を行使するのは当然のことだと思うから（男性）
- 投票は、民主主義の根幹で、国民の権利だから（男性）
- 選挙権は日本国民に与えられた権利であるため、それを放棄するなんてとんでもないと思っているため（男性）

投票する義務がある

- 一国民としての義務であり、政治に参加できる貴重な機会だから（女性）
- 前回の市長選で初めて選挙に参加した。選挙に参加しないのは無責任だと思うから（男性）
- 国政に参加するのは国民の義務だから（男性）
- 社会の一員として（女性）
- 日本国民として当たり前のことだと思うから（女性）
- 自分の意見を国会の議席の一部として反映させる義務があると思っているから（男性）
- 日本国民として当たり前のことだと思うから（女性）

意思表示したい

- たった一票でも、自分の意見を伝える為には必要だと思ったから（男性）
- ちゃんと自分の意見が反映されないと意味が無いから（女性）
- 行くことで自分自身の意見を社会に反映させることができるから（男性）
- 自分の意見を伝えられる機会を放棄すべきではないと思うから（男性）
- 少子高齢化の時代のなかで、選挙では高齢の方の意見がどうしても強くなってしまったため、だからこそ我々若い世代は選挙に行き、少しでも若い意見を外に出すべきだと思うから（女性）
- 国民の意思を反映させる手段だから（男性）
- 18歳になり選挙権を取得し、これからの日本の未来について自分の意見として意思表示したいから（男性）

【今年7月の国政選挙の投票行動を選んだ理由「自由回答集」】

日本財団公式Webサイトに掲載 https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen_survey/

現状を変えたい

- 投票しないと政治が変わらないと思うから（男性）
- 若い自分が選挙に行くことで、若者向けの政治になるかなと思うから（男性）
- 若い世代が行かないと政策が更に年配向けになってしまうから（男性）
- 選挙次第でこれからの社会の仕組みが変わってしまうから（男性）

政治に関わりたい

- 国政に積極的に参加したいから（男性）
- 自分が政治に参加する機会は最大限に利用したいから（女性）
- 少しでも役に立ちたいから（男性）
- 政治に興味があるから（男性）
- 選挙を通して社会勉強をしたいから（男性）

選挙に興味がある

- 選挙がどのようなものをまずは知りたいと思ったから（男性）
- 今年初めて18歳になって選挙権が与えられたので、ニュースも好きなので興味がある（男性）
- 選挙に行ったことがなく、人生経験として行ってみたい。っていうのが一番大きな理由（男性）
- 18歳になったので興味がある（女性）

若者層の投票率を上げたい

- 若者の政治離れが進んでいるから（男性）
- 若年層の投票率を上げたいから（男性）
- 10代の投票率が低いから（男性）

家族の誘い

- 家族みんな行く習慣があるから（女性）
- 親と一緒に行くから（女性）
- 親と一緒に行こうと言われたから（男性）

※自由回答は原文のまま記載

今年7月の国政選挙に行かない/決めていない理由

18～19歳
668人

- ・ 国政選挙の投票に行かない理由として、「住民票を移していない」といった手続きの問題や「受験生なので」といった受験シーズンであることが理由にあげられた。また、「面倒」「興味がない」「政治について理解ができていない」等の選挙への関心の低さがあげられている。ほか、「支持する人がいない」といった意見も。
- ・ 決めていない理由は、「先の予定がまだわからない」や「行ったほうが良いと感じるが知識不足で不安」など。

Q2.前問で、「行かない」「決めていない」とお答えになった理由をお書きください。（自由回答）

（行かない：n=101、決めていない：n=235）※18～19歳

行かない理由

住民票を移行していない/投票区内にいない

- ・ 引っ越したけれど住民票を移していないから（女性）
- ・ 住民票は実家のままだが、今は別のところに住んでいるため（女性）
- ・ 住民票を現住所に移していない。帰省ができる可能性が低い（女性）
- ・ 海外にいるから（女性）

時間がない

- ・ 忙しいから（女性）
- ・ 学業で忙しいため（女性）
- ・ 受験生なので（男性）

支持する人がいないから

- ・ 支持する人がいないから（男性）
- ・ どんな立候補者がいるのか知らないし、誰を選べば良いのかもわからないから（女性）
- ・ 信頼できる人がいないから（男性）
- ・ 選びたいと思える政治家がいない（男性）

政治や選挙に関する情報不足

- ・ あまり政治について理解ができていないので行かない（女性）
- ・ まだ政治のことをあまり知らない自分にその資格は無いと思うから（男性）
- ・ どこで投票するか知らないため（女性）
- ・ どんな立候補者がいるのか知らないし、誰を選べば良いのかもわからないから（女性）
- ・ よくわからないから（女性）

面倒

- ・ 面倒だから（男性）

興味がない

- ・ 興味がない（女性）
- ・ どうせ日本は変わらない（女性）

【今年7月の国政選挙の投票行動を選んだ理由「自由回答集」】

日本財団公式Webサイトに掲載 https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen_survey/

決めていない理由

予定が決まってない

- ・ 先の予定がまだわからないから（女性）
- ・ 投票日に予定がある可能性があるから（男性）
- ・ せっかく選挙権があるのだから投票はしたいが、都合が合うかどうかまだわからないから（男性）
- ・ 実習があるかもしれないから（男性）
- ・ 受験勉強の進み具合によるから（男性）

政治や選挙に関する情報不足

- ・ 行ったほうが良いと感じるが知識不足で不安（男性）
- ・ 詳しい情報を知ってから参加したいから（男性）
- ・ 政治に参加するにはしっかり知識がないと参加したいとは思わないため（女性）
- ・ 選挙の知識が乏しいのにも関わらず、一人の意見として投票をする意味がないむしろ、投票をしないという権利を行使したい（男性）
- ・ 1度もやった事が無いのでまだ何もわからないです（女性）
- ・ 何をすればいいのかわからないから（女性）
- ・ 場所を知らされてないし、出馬する人もわからない（男性）
- ・ 政治のことがよくわからない（女性）

住民票を移行していない

- ・ 投票権を持っている地域にいないから（男性）
- ・ 住民票を移していないため、実家に帰れるかわからない（男性）
- ・ 地元に戻らないと投票できないので時期が合うかわからない（男性）

支持する人がいないから

- ・ 候補者を知らないから（女性）
- ・ 私の一票で変わるとも思えないし、自分に利益になる公約を掲げている人がいない（女性）
- ・ 誰に投票するか決めていないから（男性）
- ・ 投票したい、と心から思える人がいれば投票するし、そう思える人がいなかったら投票しないと（女性）
- ・ 立候補者をよく分かっていない、投票したい人や政党があれば行くつもりである（女性）

※自由回答は原文のまま記載

投票の際の候補者選びの基準

18～19歳のうち、
Q1.7月の国政選挙で投票に
「行く」と回答した332人

- 候補者を選ぶ主な基準は、「政策」が60.8%でトップ。2位は「政党」（19.6%）でトップの「政策」と大きな差がある。

Q3.投票の際に、何を主な基準として候補者を選びますか。（単数回答）（n=332）

※ 18～19歳のうち、Q1.7月の国政選挙で投票に「行く」と回答した人

1位	政策	60.8%
2位	政党	19.6%
3位	知名度	6.3%
4位	家族や友人の評価	4.5%
5位	経歴	0.6%
6位	外見	0.3%
7位	その他	0.6%
8位	特に基準はない	7.2%

投票の際の候補者選びの基準

18～19歳のうち、
Q1.7月の国政選挙で投票に
「行く」と回答した332人

- 全体と比較すると、直近の国政選挙の投票率が「低い」と感じている人や、若者の投票率が低いことに「問題だ」と思う人も、全体と同様に「政策」を基準に候補者を選ぶ割合が高くなっている。

Q3.投票の際に、何を主な基準として候補者を選びますか。(単数回答) (n=332)

※ 18～19歳のうち、Q1.7月の国政選挙で投票に「行く」と回答した人

	n	政策	政党	知名度	家族や友人の評価	経歴	外見	その他	特に基準は	(%)
全体	(332)	60.8	19.6	6.3	4.5	0.6	0.3	0.6	7.2	
Q5.直近の国政選挙の投票率	高い	(19)	68.4	21.1	5.3	0.0	0.0	0.0	5.3	
	これでもいい	(22)	40.9	27.3	13.6	9.1	0.0	0.0	9.1	
	低い	(252)	65.5	21.0	6.0	2.8	0.8	0.4	3.2	
	わからない	(39)	38.5	5.1	5.1	15.4	0.0	0.0	33.3	
Q6.国会議員の定数	増やした方がよい	(15)	73.3	20.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	
	現状でよい	(106)	60.4	23.6	4.7	6.6	1.9	0.0	2.8	
	減らした方がよい	(146)	67.1	19.2	5.5	2.7	0.0	0.7	4.1	
	わからない	(65)	44.6	13.8	10.8	6.2	0.0	0.0	23.1	
Q8.女性議員比率	増えたほうがよい	(214)	69.2	15.4	7.5	3.7	0.9	0.0	3.3	
	今のままでいい	(53)	49.1	32.1	5.7	9.4	0.0	0.0	1.9	
	減ったほうがよい	(3)	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	わからない	(62)	43.5	21.0	3.2	3.2	0.0	1.6	25.8	
Q10.高齢多選	問題だ	(198)	65.7	20.7	5.1	3.0	0.5	0.0	5.1	
	問題ではない	(71)	54.9	21.1	14.1	2.8	1.4	0.0	4.2	
	わからない	(63)	52.4	14.3	1.6	11.1	0.0	1.6	17.5	
Q12.世襲	問題だ	(139)	66.9	15.8	6.5	2.9	0.7	0.7	6.5	
	問題ではない	(65)	55.4	29.2	7.7	3.1	1.5	0.0	1.5	
	わからない	(128)	57.0	18.8	5.5	7.0	0.0	0.0	10.9	
Q14.国会議員志望	はい	(21)	71.4	19.0	4.8	4.8	0.0	0.0	0.0	
	いいえ	(311)	60.1	19.6	6.4	4.5	0.6	0.3	7.7	
Q15.若者の投票率の低いこと	問題だ	(296)	63.9	19.9	5.4	3.4	0.7	0.3	6.1	
	問題ではない	(17)	58.8	5.9	23.5	0.0	0.0	0.0	11.8	
	わからない	(19)	15.8	26.3	5.3	26.3	0.0	0.0	21.1	
性別	男性	(181)	63.5	22.7	6.6	0.6	0.6	0.6	5.0	
	女性	(151)	57.6	15.9	6.0	9.3	0.7	0.0	9.9	

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

候補者や政党を選ぶ時の情報媒体

18～19歳のうち、
Q1.7月の国政選挙で投票に
「行く」と回答した332人

- 候補者や政党を選ぶ時に必要な情報を得る媒体として、「選挙公報」が24.4%でトップ。次いで「候補者のポスター」「インターネットなどの選挙報道」「新聞・テレビの選挙報道」である。
- インターネットを利用した情報媒体の合計は24.1%となり、トップの「選挙公報」に匹敵する。

Q4.あなたが候補者や政党を選ぶ時に、必要な情報をどの媒体で入手しますか。（単数回答）（n=332）

※ 18～19歳のうち、Q1.7月の国政選挙で投票に「行く」と回答した人

1位	選挙公報	24.4%
2位	候補者のポスター	16.9%
3位	インターネットなどの選挙報道	13.9%
4位	新聞・テレビの選挙報道	11.7%
5位	インターネット（候補者や政党のホームページ、ブログ、SNS等）	8.7%
6位	テレビ政見放送	6.3%

※7位以下の情報媒体と該当率は、次の通り。

選挙カー（4.8%）、街頭演説（4.5%）、家族や友人の評価（3.9%）、演説会（2.7%）、
インターネット（候補者や政党以外のホームページ、ブログ、SNS等）（1.5%）、その他（0.6%）

直近の国政選挙の投票率についての考え

- 全体では、直近の国政選挙の投票率が「高い」は4.7%、「これでもいい」は10.0%、「低い」は61.9%となっている。「わからない」は23.4%である。
- 全体と比較すると、7月の国政選挙の投票に「行く」と考えている人は、直近の国政選挙の投票率が「低い」と感じている人の割合が75.9%と高い。また、若者の投票率が低いことに「問題だ」と思う人も、直近の国政選挙の投票率が「低い」と感じている割合が73.0%と全体と比べて高くなっている。

Q5.直近の国政選挙の投票率は、参議院議員通常選挙（2016年7月）が54.70%、衆議院議員総選挙（2017年10月）が53.68%でした。この投票率についてどのように思いますか。（単数回答）（n=1,000）

		(n)	高い	これでもいい	低い	わからない	(%)
全体		(1000)	4.7	10.0	61.9	23.4	
Q1.7月の国政選挙の投票 ※18、19歳のみ	行く	(332)	5.7	6.6	75.9	11.7	
	決めていない	(235)	0.9	8.9	56.6	33.6	
	行かない	(101)	4.0	12.9	49.5	33.7	
Q6.国会議員の定数	増やした方がよい	(48)	16.7	8.3	66.7	8.3	
	現状でよい	(291)	4.1	16.2	65.3	14.4	
	減らした方がよい	(385)	5.7	8.8	74.5	10.9	
	わからない	(276)	1.8	5.4	39.9	52.9	
Q8.女性議員比率	増えたほうがよい	(585)	4.8	7.0	74.0	14.2	
	今のままでよい	(158)	5.7	21.5	55.1	17.7	
	減ったほうがよい	(18)	22.2	27.8	33.3	16.7	
	わからない	(239)	2.5	8.4	38.9	50.2	
Q10.高齢多選	問題だ	(579)	4.8	8.8	68.4	18.0	
	問題ではない	(191)	7.9	14.7	63.9	13.6	
	わからない	(230)	1.7	9.1	43.9	45.2	
Q12.世襲	問題だ	(331)	6.0	9.1	74.0	10.9	
	問題ではない	(161)	6.2	9.9	68.9	14.9	
	わからない	(508)	3.3	10.6	51.8	34.3	
Q14.国会議員志望	はい	(54)	13.0	13.0	66.7	7.4	
	いいえ	(946)	4.2	9.8	61.6	24.3	
Q15.若者の投票率の低いこと	問題だ	(779)	3.6	6.8	73.0	16.6	
	問題ではない	(88)	13.6	34.1	23.9	28.4	
	わからない	(133)	5.3	12.8	21.8	60.2	
性別	男性	(500)	6.0	11.6	65.8	16.6	
	女性	(500)	3.4	8.4	58.0	30.2	

*赤字はペーがn=29以下のため参考値

国会議員の定数についての考え

- 全体では、国会議員の定数を「増やした方がよい」は4.8%、「現状でよい」は29.1%、「減らした方がよい」は38.5%となっている。「わからない」は27.6%である。
- 全体と比較すると、国会議員の世襲を「問題だ」と思う人は、国会議員の定数を「減らした方がよい」の割合が51.7%と全体と比べて高くなっている。

Q6.国会議員の定数は、衆議院議員が465人、参議院議員が248人です。あなたは、この人数についてどのように思いますか。
(単数回答) (n=1,000)

		(n)	増やした方がよい	現状でよい	減らした方がよい	わからない	(%)
全体		(1000)	4.8	29.1	38.5	27.6	
Q1.7月の国政選挙の投票 ※18、19歳のみ	行く	(332)	4.5	31.9	44.0	19.6	
	決めていない	(235)	4.3	27.7	35.7	32.3	
	行かない	(101)	5.0	20.8	35.6	38.6	
Q5.直近の国政選挙の投票率	高い	(47)	17.0	25.5	46.8	10.6	
	これでもいい	(100)	4.0	47.0	34.0	15.0	
	低い	(619)	5.2	30.7	46.4	17.8	
	わからない	(234)	1.7	17.9	17.9	62.4	
Q8.女性議員比率	増えたほうがよい	(585)	4.4	30.9	42.4	22.2	
	今のままでいい	(158)	8.2	37.3	39.9	14.6	
	減ったほうがよい	(18)	0.0	11.1	77.8	11.1	
	わからない	(239)	3.8	20.5	25.1	50.6	
Q10.高齢多選	問題だ	(579)	4.8	29.0	43.9	22.3	
	問題ではない	(191)	6.3	36.6	37.2	19.9	
	わからない	(230)	3.5	23.0	26.1	47.4	
Q12.世襲	問題だ	(331)	5.1	28.4	51.7	14.8	
	問題ではない	(161)	6.2	38.5	40.4	14.9	
	わからない	(508)	4.1	26.6	29.3	40.0	
Q14.国会議員志望	はい	(54)	11.1	29.6	46.3	13.0	
	いいえ	(946)	4.4	29.1	38.1	28.4	
Q15.若者の投票率の低いこと	問題だ	(779)	4.5	31.2	40.9	23.4	
	問題ではない	(88)	6.8	26.1	38.6	28.4	
	わからない	(133)	5.3	18.8	24.1	51.9	
性別	男性	(500)	5.6	31.8	40.6	22.0	
	女性	(500)	4.0	26.4	36.4	33.2	

*赤字はベースがn=29以下のため参考値

国会議員の定数は現状でよい/減らした方がよい理由

- 国会議員の定数は現状でよいとする理由は特に問題ないとする人のほか、「無駄に増やしたり減らしたりしても、どうせ何も変わらない」といった現状への不信や「少ないと意見が偏る可能性がある」といった偏向への懸念。
- 減らした方がよい理由は、「国会議員を増やしたからと言って国民の生活がそれ程大きく変わるとは思えず、財政難と借金が増える一方でゆとりはない」といった費用面や「その給料に見合った仕事をしてない人がいる」といった適性を問題視する意見があげられている。

Q7.前問で、「現状でよい」「減らした方がよい」とお答えになった理由をお書きください。（自由回答）
（現状でよい：n=291、減らした方がよい：n=385）

現状でよい理由

現状で、問題がない/必要性を感じない

- それで今成立してるから（女性）
- この人数が多すぎず少なすぎず国民との割合も良いと思うから。話し合いはこの人数で良いと思う（女性）
- これ以上増やしたり減らしたりする理由が見つからなかったため（男性）
- 現状の制度に特に問題点を感じないから（男性）

人数の増加や減少はよくない/問題が起こる

- 人数を減らす→少数の議員の意見に偏ることによって独裁化しかねない。多くの人の意見が政治に反映されなくなる可能性がある。人数を増やす→立候補した議員がほとんど選挙に通ってしまえば、選挙の意味がなくなってしまう。それなりの支持率を獲得した、国のために動く議員が日本には必要であり、人数を増やすことによって、言い方は悪いが、適当な、自己満足のために働く議員が増える可能性がある（女性）
- 増やせば給与にける税金負担が増え、減らせば民意が反映されにくくなる恐れがある（女性）
- 多すぎると議員に対する報酬額がとんでもなくなるし、少なすぎても諸外国、特に中国やアメリカなどの大国と対等に話ができないから。（男性）
- 多すぎると統率が取れなくなり、少ないと意見が偏る可能性がある。現在は、マスコミや他の議員からの目が一人ひとりの議員に向いていると感じる（女性）

人数を変えても影響がない

- 無駄に増やしたり減らしたりしても、どうせ何も変わらないから（男性）
- 今の国会の臨時会で毎日毎日どうでもいい話し合いに金と時間を使うのなら人数がどう変わろうとあまり関係ないと思うから（男性）

人数が増加した場合、議員の質低下/税金がかかる

- あまり、人数を多くしすぎてしまうと良くない人も選ばれやすくなるから（女性）
- これ以上増やしてしまうとその分お金の支出が増えてしまい、経済の負担となるから。また、議員数を増やしたところで、議員の質が低下するだけだと思う（女性）
- ちゃんと国もまわってるとおもうしこれ以上増やすと逆に無駄な経費がかかって国民の負担が増えるから（女性）

【国会議員の定数についての考えを選んだ理由「自由回答集」】

日本財団公式Webサイトに掲載 https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen_survey/

減らした方がよい理由

税金の無駄

- ある程度は人数は必要だけど、300人も400人も必要かと言われるとそうでもない気がする。なのに国会議員に多額の給料が支払われているから。貧しい人にお金を回すべき（男性）
- 国会議員を増やしたからと言って国民の生活がそれ程大きく変わるとは思えず、財政難（税収の見込み）と借金が增える一方でゆとりはないと実感しているからです（男性）
- 不正に税金が使われていたりして市民にあまり還元されていない気がするし、人数が多すぎて税金の無駄遣いだと感じるから（女性）

ふさわしい人だけ選出

- きちんと国会議員としての役目を果たしている人がそんなにいるとは思えないから（女性）
- そんなにたくさんいても意見がまとまらないから確実に意見を出せる人や主張ができる人だけを集めた方がいいと思います（女性）
- 高額な給料が税金から払われているが、その給料に見合った仕事をしてない人がいる（女性）
- 比例代表で選ばれた議員は、権力だけ強くて国民の意見にそぐわない人もなかにはいるため、比例代表制をなくしてこの分議員数も減らした方が良いのではないかと思うため（女性）

多人数の弊害

- 2院制だが実質的に衆議院で物事が決まっているので多すぎる。都道府県に一人ずつなんて考え方はおかしい。国全体で考えた方がよいから（男性）
- そんなにいても国民の声が反映されてない（女性）
- 人数が多すぎて一人一人の行動がわからず実績が把握できないから（男性）
- 人数が多い方が多くの意見が上がるかもしれないが、そんなに多くの数はいらなかったから（女性）
- いろんな意見を持った人がたくさんいるならいいけど同じような意見を持つ人達が多いと少数派の意見があっさり消えていきそうで怖いから（女性）
- 議席数が多いことにより、方針がまとまらない事象が発生する可能性があるから（男性）

※自由回答は原文のまま記載

国会議員の定数は増やした方がよい/わからない理由

- 国会議員の定数についてわからない理由は、「政治のことをよく知らないから」「どのくらいの人数が最適なのかがよく分からない」など判断基準がないことをあげている。また、「政治に興味がない」という関心の低さも見られた。
- 増やした方がよい理由は、「少数意見や地方の意見が反映されにくいから」「人を増やした方が色々な意見が出やすい」といった意見があがった。

Q7.前問で、「わからない」「増やした方がよい」とお答えになった理由をお書きください。（自由回答）
（わからない：n=276、増やした方がよい：n=48）

わからない理由

国会、政治について詳しくない

- 政治のことをよく知らないから、判断ができない（女性）
- 実際物事を決めるのに何人ほどの人数が必要なのか、またどれほどの役職に分かれているかなどのことを知らないから（女性）
- 会議の内容や状態も知らないのになんとも言えない（男性）
- その人数がそれぞれどんな役割を担う人がいるのか把握してないから（女性）
- 国会議員はいろいろな地区から多く出たほうがいいが、財政とも折り合いをつけなくてはならない（男性）
- 勉強不足なため（男性）

適正人数がわからない

- どのくらいの人数が最適なのかがよく分からないから（女性）
- 増えてるのか減っているのかも知らないし、人口に対してどれくらいが適正なのかもよくわからないから（女性）
- 国会の仕組みをよく知らないで適正な人数がわからない（女性）
- 議員の人数の基準がよく分からないから（男性）
- 多すぎても少なすぎても国民が必要としている事項に沿うことができないと思うから（女性）
- 多いか少ないかは本人達にしか分かり用がないから（男性）
- それぞれがその人数で行うメリットとデメリットがわからないから（女性）
- 一見多く、少なくすべきであるように感じるが、減らしたときに生じるよくない点がありそう（男性）

興味・関心がない

- 政治に興味がないから（女性）
- 考えたこともなかったから（女性）
- 興味はあるが仕組みがよく分からないので（女性）
- 勉強不足であまり理解してないと、関心がないため（女性）
- 調べようと思ったことがないため（女性）

【国会議員の定数についての考えを選んだ理由「自由回答集」】

日本財団公式Webサイトに掲載 https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen_survey/

増減による影響がわからない

- 国会議員の数が増減することによる社会への影響がわからないから（女性）
- 人数でなにが変わるかよくわからないから（男性）
- 人数でどこまで影響が出るのかを知らないから（女性）
- それぞれがその人数で行うメリットとデメリットがわからないから（女性）

その他

- 議員定数を減らすと人権費の削減につながるが、死票が増えたり意見の多様性が損なわれたりする可能性があるため（男性）
- 現在の一人一人に課されている仕事の量によって考えが変わると思ったからです（男性）

増やした方がよい理由

たくさんの意見が欲しい/様々な意見を反映すべき

- 少数意見や地方の意見が反映されにくいから（男性）
- 一人一人の給料を減らして人を増やした方が色々な意見が出やすいと思うから（女性）

少ないと思う

- 欧米諸国と比べると、日本は公務員数が少ないから（男性）
- 減っている現状だから（女性）
- 政治が疎かになってしまうから（女性）

増えたらいいと思う

- 少なくなくて問題が出ているなら増やした方がスムーズにいくと思う（女性）
- 人口の多いところは選挙区を増やすべきだと思うから（男性）
- 人数が多い方がより良い結果が得やすいと思うから（男性）

※自由回答は原文のままで記載

女性議員の比率についての考え

- 全体では、女性議員の比率を「増えた方がいい」は58.5%、「今のままでいい」は15.8%、「減った方がいい」は1.8%となっている。「わからない」は23.9%である。
- 全体と比較すると、7月の国政選挙の投票に「行く」と考えている人も、全体と同様に「増えた方がいい」が過半数を超えている。
- また、直近の国政選挙の投票率が「低い」と感じている人や、国会議員の世襲を「問題だ」と思う人は、女性議員の比率を「増やした方がいい」が全体と比べて高くなっている。

Q8.現在の女性議員の比率は、参議院議員が20.7%、衆議院議員が10.1%です。あなたは、この数字をどう見ますか。(単数回答)
(n=1,000)

		(n)	増えた方がいい	今のままでいい	減った方がいい	わからない	(%)
全体		(1000)	58.5	15.8	1.8	23.9	
Q1.7月の国政選挙の投票 ※18、19歳のみ	行く	(332)	64.5	16.0	0.9	18.7	
	決めていない	(235)	56.6	10.2	2.6	30.6	
	行かない	(101)	54.5	15.8	2.0	27.7	
Q5.直近の国政選挙の投票率	高い	(47)	59.6	19.1	8.5	12.8	
	これでもいい	(100)	41.0	34.0	5.0	20.0	
	低い	(619)	70.0	14.1	1.0	15.0	
	わからない	(234)	35.5	12.0	1.3	51.3	
Q6.国会議員の定数	増やした方がよい	(48)	54.2	27.1	0.0	18.8	
	現状でよい	(291)	62.2	20.3	0.7	16.8	
	減らした方がよい	(385)	64.4	16.4	3.6	15.6	
	わからない	(276)	47.1	8.3	0.7	43.8	
Q10.高齢多選	問題だ	(579)	63.2	15.7	2.6	18.5	
	問題ではない	(191)	56.0	22.0	0.5	21.5	
	わからない	(230)	48.7	10.9	0.9	39.6	
Q12.世襲	問題だ	(331)	69.8	13.9	3.0	13.3	
	問題ではない	(161)	52.2	25.5	1.2	21.1	
	わからない	(508)	53.1	14.0	1.2	31.7	
Q14.国会議員志望	はい	(54)	68.5	22.2	3.7	5.6	
	いいえ	(946)	57.9	15.4	1.7	24.9	
Q15.若者の投票率の低いこと	問題だ	(779)	65.1	14.8	1.4	18.7	
	問題ではない	(88)	43.2	28.4	2.3	26.1	
	わからない	(133)	30.1	13.5	3.8	52.6	
性別	男性	(500)	51.4	20.6	3.2	24.8	
	女性	(500)	65.6	11.0	0.4	23.0	

女性議員の比率は増えた方がいい 理由

- 女性議員の比率が増えた方がいい理由は、「国の考え方が男性だけの考え方の社会になってしまうから」「子どもの問題や家庭での問題は主婦だからこそ気付くこともあると思う」など女性目線の意見や政策を求める声があった。
- 「男女比に偏りがある様では世の中の男女平等も進んでいかない」といった男女の平等意識や「女性の社会進出の話題が出ているなら、議員や国の大切な決定事項にも女性が関わるべきだ」と女性の社会進出に基づいた意見も出された。また、「先進国の中では女性の割合が低いから」という意見も。

Q9.前問で、「増えた方がいい」とお答えになった理由をお書きください。（自由回答）（増えた方がいい：n=585）

増えた方がいい

女性目線の意見や政策がほしい

- 国の考え方が男性だけの考え方の社会になってしまうから。意見が片寄りやすい。違った意見が欲しい（男性）
- 子どもの問題や家庭での問題は主婦だからこそ気付くこともあると思うので、子どもを持つお母さん議員が増えてほしい（女性）
- 男性の方が優れているわけではないし、女性目線の意見も大切であり、気づかなかった点もあるのではないかと思っているからです（男性）
- ただでさえ、世界に比べて仕事における男女格差が大きい日本なので、国民の代表である議員が女性の人数が増えれば、社会全体として女性が働きやすい環境になると思う。また、女性の議員が増えれば、国の政策にもより女性目線の意見が取り入れられると思う（女性）
- 国会議員の世界ではまだまだ男尊女卑の思考が残っている印象が強い。女性議員が少ないと、女性の声（訴え・提案）がかき消されてしまうように思える（女性）
- 子育ての政策など、子どもの世話をしたこともないような年配の男性の意見だけで政策が決まっているが、現実味がないことが多いので実際に子育てを経験した女性の意見も必要であると感じる（女性）
- 男女の比率が同じぐらいになることで、多様な考え方が出来るようになると思うから（女性）
- 様々な目線で判断して欲しいので。男、女だけで分けるのではなく様々なジェンダーの方がいればさらに良くなると思う（女性）

男女平等であるべき

- 男女平等が唱えられている中で議員の男女比に偏りがある様では世の中の男女平等も進んでいかないと思うから（女性）
- 国内外で、男女平等が叫ばれているにもかかわらず、男性議員の比率が圧倒的に高いのはそれに反していると思うから（男性）
- 日本の社会全体的にまだ男尊女卑の考えが大きくある。日本をリードしていく者達が率先的にその考えを打ち破らなければ発展はしていかない（男性）

【女性議員の比率についての考えを選んだ理由「自由回答集」】

日本財団公式Webサイトに掲載 https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen_survey/

女性が社会で活躍するため

- 女性の社会進出の話題が出ているなら、議員や国の大切な決定事項にも女性が関わるべきだと思うから（女性）
- まだ女性が社会的に弱い立場にいると思うので、国会議員という国を代表する人達から女性の社会での活躍を見せて欲しい（女性）
- 女性が活躍できたり男性と差別されることがたまにあるからそれを完全になくせたらもっと素敵な社会になると思うから（女性）
- 女性も沢山活躍して平等な社会にしてほしいから（女性）
- 女性の社会進出で国の代表がそもそも女性が活躍できる機会を作らないのはどうかと思う（女性）
- 増やすことで、他面での女性の社会進出を促進すると思われるから（女性）
- 国政が男性中心社会である限り日本の中での職務などにおいての男女差別はなくなると思うから（女性）

少ないと思うから/増えたほうがいいと思う

- 現代の日本では、女性が社会進出をしていっているのだから、これまでのように男性中心の社会ではなく女性、男性両方の国民の意見を尊重するためには女性議員が少なすぎると感じるから（女性）
- 少ないと女性はやはり社会的に弱いのかなと思ってしまふから（女性）
- 政府が女性進出を掲げてる割には少ないと感じたから（男性）
- 日本国民の約半分は女性であるわけだから、国民の代表である国会議員ももっと女性が増えるべきだと考えているから（女性）

海外の国と比べたら、日本の女性議員の比率が低い

- 先進国の中では女性の割合が低いから（男性）
- 真に男女平等を掲げるのならその数字は低すぎるものでたり、他の先進国と比較しても軒並み低い水準であるから（男性）
- 世界的に見ると日本は女性の社会進出が行われていないと思うから（女性）

※自由回答は原文のままで記載

女性議員の比率についての考え 理由

- 女性議員の比率が今のままでいい理由は、「女性が今の人数でも活躍してる」「選挙で決めているので問題はない」といった現状で問題ないと考える意見や、「別に増えても今の日本が変わるとは思わない」といった意見も。
- わからない理由は、「なりたくてもなれない女性がいるのか、そもそも選ばれないのかわからないから」といった現状を知らないため判断できない人や、「できる人なら男女問わず」「政治の重要事項は性別はあまり関係ない」といった性別よりも能力を重視した意見が出された。

Q9.前問で、「今のままでいい」「減った方がいい」「わからない」とお答えになった理由をお書きください。（自由回答）
（今までのままでいい：n=158、減った方がいい：n=18、わからない：n=239）

今のままでいい理由

無理に女性議員を増やす必要がない

- 女性が今の人数でも活躍してるから（女性）
- 選挙で決めているので問題はない（女性）
- 自然的に女性議員が増えることは喜ばしいが、無理に女性議員の数を増やすというのは、本来望まれた女性の社会進出の形とはずれていると思うため（男性）
- 性別で決めるのではなく優秀な人間になるべきだから（男性）
- 男性と女性の比率的にこれがベストだと思うから（女性）
- 女性立候補者が少ないのに女性の当選者の比率を増やすのは国民の意見を通す上で公正でないと感じた（男性）
- そもそも女性が国会議員目指す人少ないだけだと思う。単純に分母が少ないだけ（女性）

人数を変えても大して変わらない/影響がない

- 別に増えても今の日本が変わるとは思わない（女性）
- 女が増えようが減ろうが変わらないから（女性）
- そんな革新したところで何か変わるとは思えない（女性）
- 女性は発言力が小さく増やしても減らしても変わらないかと…（男性）
- 女性が増えたとしても政策は変わらないと思うから（男性）
- 今のままで充分だし、質が良ければ問題ないから（男性）

減った方がいい理由

- なんとなく（女性）
- 知らない（男性）
- よく分からない（女性）
- 意味がない（男性）

【女性議員の比率についての考えを選んだ理由「自由回答集」】

日本財団公式webサイトに掲載 https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen_survey/

わからない理由

国会、政治について詳しくない

- なりたくてもなれない女性がいるのか、そもそも選ばれないのかわからないから（男性）
- 現状の人数が議員になろうとする女性人口の問題なのか政党内での問題なのか分からないから（男性）
- ちゃんとした内容をよく知らないから（女性）
- 女性の政治参加は進んだ方がよく、その点ではこの割合は低いように感じるが、そもそも女性立候補者が少ないのではないかと考えたから（男性）

性別より能力

- ふさわしい人がなればいいので割合は関係ない（男性）
- 議員は性別は関係なく政策・信条や能力によって選ばれるべきだと思うので、女性の候補者は増えてもよいと思うが、無理に議員数を増減させることには違和感を感じるから（男性）
- 真の男女平等を求めるとなれば男性や女性あいの比率を気にする必要はないと思うから（女性）
- 性別に関わる議題なら、性別のことについて気にするが、政治の重要事項は性別はあまり関係ないような気がするから（女性）
- 単に女性と男性の比率を揃えるためだったら増やす必要はないが、女性に対する差別的な理由で現状少ないのであれば優秀な人材は増やした方がいいと思うから（女性）
- できる人なら男女問わず（男性）

どれぐらいの比率が適切かわからない

- 女性比率がどれぐらいであれば良いのかという基準がないから（男性）
- どのぐらいが適正なのかよくわからないから（女性）

関心がない

- そこにはあまり興味がないから（男性）
- 特に気にしたことがない（男性）
- よく分からない（男性）

※自由回答は原文のままで記載

国会議員の高齢多選についての考え

- 全体では、国会議員の高齢多選について、「問題だ」と思うのは57.9%、「問題ではない」と思うのは19.1%となっている。「わからない」は23.0%である。
- 全体と比較すると、7月の国政選挙の投票に「行く」と考えている人も、全体と同様に「問題だ」が約6割である。
- また、国会議員の世襲を「問題だ」と思う人は、国会議員の高齢多選を「問題だ」と思う割合が68.3%と全体と比べて高くなっている。

Q10.国会議員の高齢多選（同じ人が何度も当選して長期間在職し、高齢化する状況）についてどのように思いますか。（単数回答）

(n=1,000)

		(n)	問題だ	問題ではない	わからない	(%)
全体		(1000)	57.9	19.1	23.0	
Q1.7月の国政選挙の投票 ※18、19歳のみ	行く	(332)	59.6	21.4	19.0	
	決めていない	(235)	54.0	16.6	29.4	
	行かない	(101)	58.4	14.9	26.7	
Q5.直近の国政選挙の投票率	高い	(47)	59.6	31.9	8.5	
	これでもいい	(100)	51.0	28.0	21.0	
	低い	(619)	64.0	19.7	16.3	
	わからない	(234)	44.4	11.1	44.4	
Q6.国会議員の定数	増やした方がよい	(48)	58.3	25.0	16.7	
	現状でよい	(291)	57.7	24.1	18.2	
	減らした方がよい	(385)	66.0	18.4	15.6	
	わからない	(276)	46.7	13.8	39.5	
Q8.女性議員比率	増えたほうがよい	(585)	62.6	18.3	19.1	
	今のままでいい	(158)	57.6	26.6	15.8	
	減ったほうがよい	(18)	83.3	5.6	11.1	
	わからない	(239)	44.8	17.2	38.1	
Q12.世襲	問題だ	(331)	68.3	16.9	14.8	
	問題ではない	(161)	54.7	30.4	14.9	
	わからない	(508)	52.2	16.9	30.9	
Q14.国会議員志望	はい	(54)	72.2	20.4	7.4	
	いいえ	(946)	57.1	19.0	23.9	
Q15.若者の投票率の低いこと	問題だ	(779)	63.7	17.6	18.7	
	問題ではない	(88)	37.5	36.4	26.1	
	わからない	(133)	37.6	16.5	45.9	
性別	男性	(500)	60.4	20.0	19.6	
	女性	(500)	55.4	18.2	26.4	

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

国会議員の高齢多選は問題と思う理由

- 高齢多選を問題とする理由は、「これからの日本を担うのは若者であり、そういった人の意見をたくさん取り入れていくほうがこれからの日本にとって良い」「次の世代を担う若い人がもっと頑張るべき」といった若者の参画を推進する意見が出されている。また、「古い考えにとらわれすぎて、現状に合った議決ができない可能性がある」といった時代のニーズに合わなくなることや「高齢者目線の政策が多く採用されてしまうから」など意見が偏ることへの危惧が上げられた。

Q11.前問で、「問題だ」とお答えになった理由をお書きください。（自由回答）（問題だ：n=579）

問題な理由

若者の意見も取り入れたい

- これからの日本を担うのは若者であり、そういった人の意見をたくさん取り入れていくほうがこれからの日本にとって良いと思うから（女性）
- どんどん新しい人を入れて新しい考えを取り入れてくと良いと思う（女性）
- 意見が偏ってしまうと思う（女性）
- 現状の日本は悪い傾向になっているので、安定を求めるのもある程度は必要だが、やはり少しずつでも若手目線からも改革を進めるべきだと思うから（男性）
- 古い考えに偏ってしまい、新しい意見などが出ない高齢者の意見ばかりが反映されてしまい、若年世代の意見が反映されにくくなると思うから（女性）
- 考え方が古いままになってしまう。それに考え方が偏る。若者の意見がしっかりと入るようになれば（男性）
- 若い人の考え方や、社会に対して思っている事が政治家に伝わらないから（男性）
- 長くいる人が必然と権力を持ってしまふから、若手が発言しづらい、行動しづらくなってしまうから（女性）
- 様々な年代の目線から議論した方が良いと考えるから（男性）

次世代を担う若者が参加して欲しい

- 次の世代を担う若い人がもっと頑張るべき（男性）
- これからの担う人間が少ないのは困ると思うから（女性）
- このような政治に関する件でも、何度も当選し、高齢化していく政治家に頼りきるせいで、若い政治家はその人たちに任せきりとなり、なかなか世の若い世代の国民に政治関係のことが響かないから（女性）
- 若い人が政治に関われば、政治に興味を持たない若い人たちも少しは関心を持つことができると思う（女性）
- 熟練の議員も必要だが、老いてきていることや若い世代に引き継ぐことの重要性を考慮すべきだと思うため（男性）
- 将来のことを考えれば、若い世代が政治経験を経た方がよいから（男性）

【国会議員の高齢多選についての考えを選んだ理由「自由回答集」】

日本財団公式Webサイトに掲載 https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen_survey/

古い価値観に固執して、時代のニーズに合わなくなる

- その人の実力があるのかもしれないが、若い人間もいないと現状維持で終わってしまうと思うから（男性）
- 古い考えにとらわれすぎて、現状に合った議決ができない可能性がある（男性）
- 高齢化すると、新しい考え方を柔軟に取り入れる事が出来なくなる場合が多いから（男性）
- 時代の変化に対応することが難しいから（男性）
- 時代の流れを掴むことも重要であると思うから（男性）

新しいものが生まれない

- いつまでたっても新しい世代が動かない。また、新しい世代が動こうとしても気づいたらその世代も高齢になってしまい日本の政治界は金輪際変わらないと思うから（女性）
- ずっと同じことの繰り返しになる（女性）
- 同じ人ばかりで新しいアイデアが生まれにくい（男性）
- 同じ人が何度も当選することによって、新しい人が入りづらくなる。新しい考えも減るし、意見も偏ってくる（女性）

高齢者議員に対するイメージは良くない/健康状況や能力が心配

- その人ができなくなった時に困るから（女性）
- どうしても、保守的になったり、利権が絡んだりするから（男性）
- どれだけ政策がよくても歳をとってしまったら行動力が低下するので、若い人を芽を摘まないためにも問題だと思う（男性）
- 任せて良いのか、どうか、年齢的に心配になる（女性）

高齢者優先の政策になる

- これからの若者のための政治をすべきなのにも関わらず、高齢者が自分たちのための政治をしていては日本が良くなるわけが無いから（男性）
- 高齢者にばかり優遇される社会になりそうだから（男性）
- 高齢者目線の政策が多く採用されてしまうから（女性）
- 老人中心の社会になってしまい、若者が生きづらくなる（男性）

※自由回答は原文のまま記載

国会議員の高齢多選は問題ではない/わからない理由

- 高齢多選が問題ではない理由は、「その人が最適であればずっと続けられるまで続けた方がいい」といった適任者だから選ばれるといった意見や、「ベテランになることでより円滑に政治が進みそう」といったキャリアを利点に捉えた意見があげられている。
- わからない理由は、「議員の高齢化は問題ではあるが、国に貢献しているのであれば、年齢は関係ない」といった年齢で一概に判断できないという意見があげられている。

Q11.前問で、「問題ではない」「わからない」とお答えになった理由をお書きください。（自由回答）
（問題ではない：n=191、わからない：n=230）

問題ではない理由

選ばれた理由がある

- その人が最適であればずっと続けられるまで続けた方がいいから（女性）
- その人が選ばれる理由があると思うから（女性）
- 何度も当選するということは、それなりの信頼や知名度があるから（男性）
- 選挙で選ばれた人だから、その人がいるのは国民の意思を反映しているものだから（男性）
- 当選しているということは、その人に任せてよいと皆が思っているからなので（女性）
- 同じ人になるのはその人の実力が認められているからだと思うから（女性）
- 高齢だからって否定するのは良くない。その人がどれだけ長いこと当選してることこそはすごくその人がした政策が良かったことだと思う（女性）
- 情勢、実力、信用で選ばれるなら何選であろうが新人であろうが関係ないと考えているから（男性）
- 信頼できる人であれば続けてもいいと思うから（男性）
- 問題は年齢ではなく政策（男性）

ベテラン議員のメリットや経験があるから

- ベテランになることでより円滑に政治が進みそうだから（女性）
- 悪影響を及ぼすなら別だが、知識と経験を豊富に持つ人が政治を担うのは頼もしいから（女性）
- 経験のある人がいる事自体に問題はない（女性）
- 経験豊富な方が主に外交などで有利だから（男性）
- 政治をよく分かっている人が政治をすれば、国民も安心して任せられると思うから（女性）
- 長く在籍することによって把握できる範囲が広がり、物事を進めやすくするメリットがあると思うから（女性）
- 有能な人が残るのは当然で、経験豊富な人がいる方が海外相手もできるから（女性）

【国会議員の高齢多選についての考えを選んだ理由「自由回答集」】

日本財団公式Webサイトに掲載 https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen_survey/

わからない

国会、政治に詳しくない/理解できない/現状よくわからない

- 国民は議員の仕事内容や活動を知らな過ぎるし、その情報も公開されていない。どれだけの実績、功績を残しているのか、興味が若者である人はほとんどない（男性）
- 政治のことをほぼ知らないから（男性）
- 同じ人が何度も当選するのは当選した人にとっては良い事だと思いますが実際はどうかよく分からない（女性）
- その人の政策が良くて選ばれているのか、権力が強くて選ばれているのかわからないから（女性）
- 国会についてよく分からないから（男性）

年齢より実力/仕事できればいい

- とても政治に貢献してくれている人だったらいいと思うが、そうでもない人だとしたら居る必要性がないと思ったから（女性）
- やりたいという人に任せたい（女性）
- 議員の高齢化は問題ではあるが、国に貢献しているのであれば、年齢は関係ないと思う（男性）
- 正当な判断をしてくれるのなら長年いてもいいと思ったから（女性）
- 年齢ではその人の能力は測れない（男性）

いいことも悪いこともあると思うから

- キャリアを積むことはいいことだが、長くいると仕事が疎かになりそうだから（女性）
- ベテランの人が当選するのは安心感がある。しかし、議案や考え方に偏りが出るのではないかな不安が残る（女性）
- メリットもありデメリットもあるから（女性）
- 高齢者だけでもだめだし若いひとだけでもだめだから（女性）

※自由回答は原文のまま記載

国会議員の世襲についての考え

- 全体では、国会議員の世襲について、「問題だ」と思うのは33.1%、「問題ではない」と思うのは16.1%となっている。「わからない」は50.8%である。
- 全体と比較すると、7月の国政選挙の投票に「行く」と考えている人は、国会議員の世襲を「問題だ」とする比率が41.9%と高い。また、直近の国政選挙の投票率が「低い」と感じている人や、国会議員の定数を「減らした方がよい」と考える人も、国会議員の世襲を「問題だ」とする割合が全体と比べて高くなっている。

Q12.国会議員の世襲についてどのように思いますか。（単数回答）（n=1,000）

		(n)	問題だ	問題ではない	わからない	(%)
全体		(1000)	33.1	16.1	50.8	
Q1.7月の国政選挙の投票 ※18、19歳のみ	行く	(332)	41.9	19.6	38.6	
	決めていない	(235)	30.2	12.3	57.4	
	行かない	(101)	26.7	9.9	63.4	
Q5.直近の国政選挙の投票率	高い	(47)	42.6	21.3	36.2	
	これでもいい	(100)	30.0	16.0	54.0	
	低い	(619)	39.6	17.9	42.5	
	わからない	(234)	15.4	10.3	74.4	
Q6.国会議員の定数	増やした方がよい	(48)	35.4	20.8	43.8	
	現状でよい	(291)	32.3	21.3	46.4	
	減らした方がよい	(385)	44.4	16.9	38.7	
	わからない	(276)	17.8	8.7	73.6	
Q8.女性議員比率	増えたほうがよい	(585)	39.5	14.4	46.2	
	今のままでよい	(158)	29.1	25.9	44.9	
	減ったほうがよい	(18)	55.6	11.1	33.3	
	わからない	(239)	18.4	14.2	67.4	
Q10.高齢多選	問題だ	(579)	39.0	15.2	45.8	
	問題ではない	(191)	29.3	25.7	45.0	
	わからない	(230)	21.3	10.4	68.3	
Q14.国会議員志望	はい	(54)	46.3	24.1	29.6	
	いいえ	(946)	32.3	15.6	52.0	
Q15.若者の投票率の低いこと	問題だ	(779)	36.6	16.6	46.9	
	問題ではない	(88)	25.0	21.6	53.4	
	わからない	(133)	18.0	9.8	72.2	
性別	男性	(500)	35.0	19.4	45.6	
	女性	(500)	31.2	12.8	56.0	

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

国会議員の世襲についての考えを選んだ理由

- 国会議員の世襲を問題とする理由は、「子供が親のように優れているとは限らない」など必ず適切な人材とは限らないといった意見や「しっかりとした実力がない人物が当選することで国家の発展を妨げることになる」といった実力主義を求める声あげられている。また、「一つの意見に偏る」「考えが同じような人ばかりになってくる」といった政治的偏向を懸念する意見も。

Q13.前問で、「問題だ」とお答えになった理由をお書きください。（自由回答）（問題だ：n=331）

問題な理由

必ず適切な人材になるとは限らない

- 子供が親のように優れているとは限らないから（女性）
- 自分で、こんな政策で社会を変えたい、などとビジョンを持っていない人が政治家になる可能性があるから。そのような人が政治家になると、色々問題を起こしそだから（女性）
- 実力が伴ってない可能性あり（男性）
- 世襲したところで、二世に政治家としての素質、また手腕があるのかわからないから（女性）
- 世襲制であればノウハウを親から教えてもらえる等の利点もあるが、親に影響を受けすぎたり、その子ども自身の能力によっては、議員に向いていない可能性もあると思うから（男性）
- 本人に能力が無い場合にも世襲だからと国会議員になるのは国の為にならないから（男性）

国会議員に対するイメージは良くない/問題が多発する

- いろいろ問題が起こっているから（女性）
- 国民の代表として選ばれているのに、問題行動が度々起こるから（男性）
- 最近不適切な言動が多い（女性）
- 常識のない方が多い。問題発言が非常に多い（女性）

良い成果につながらない

- しっかりとした実力がない人物が当選することで国家の発展を妨げることになるから（男性）
- 継ぐのはどうも納得いかない（女性）
- 実力あればまだしも、そういう風潮は国民にとって良くない（男性）
- 世襲全てが問題とは思わないが、驕りが出てくるのが容易に予想できるし、歴史を見ても世襲によってずっといい結果が出ている例はほとんどないから（男性）

公平に議員を選出すべき/実力で決める

- ちゃんと声をあげた人が動いて欲しいのにそのまま親の流れでってやられるとなんだか微妙（女性）
- 意欲のある人がやるべき（女性）
- 国会議員は適正で選ばれるべきだと思うから（女性）
- 国会議員は正当に選挙で選ばれるべき（女性）
- 実力主義のほうがいいと思うから（女性）
- 能力が優遇されるべき（女性）

意見や政策が偏るから/多様性が失われる

- 一つの意見に偏るから（女性）
- 議員のダイバーシティ化がすすまないから（男性）
- 固定観念とかありそう（女性）
- 考えが同じような人ばかりになってくるから（女性）
- 考えが偏る。派閥にとらわれがちなのが（女性）
- 新しい風が入ってこないから（女性）
- 偏った考え方や、方策、方針となってしまうかもしれないから（男性）
- 様々な意見が取り入れられない（男性）

不公平だから

- 国会議員は、親戚関係によらず、平等な権利・環境のもとで選ばれるべきだから。また、いい考えを持っていても、世襲のせいで選ばれない候補者が出てきたとしたら、それは問題だと思うから（男性）
- 世襲により、当選が偏る、そして、公平でない（女性）
- 選挙で公平性がなくなる危険がある。さらに言えば、コネで当選する人が出ている危険もある（男性）

【国会議員の世襲についての考えを選んだ理由「自由回答集」】

日本財団公式Webサイトに掲載 https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen_survey/

※自由回答は原文のまま記載

国会議員の世襲についての考えを選んだ理由

- 国会議員の世襲が問題ではない理由は、「世襲も議員の実力によるものだと思うから」といった実力重視の意見や、「親の背中を見て議員を志すことは別に悪くはない」といった意見も。
- わからない理由は、「いい人材もいるから何とも言えない」といった人材の良し悪しによる判断の難しさや、そもそも世襲の問題を知らなかった人も。

Q13.前問で、「問題ではない」「わからない」とお答えになった理由をお書きください。（自由回答）
（問題ではない：n=161、わからない：n=508）

問題ではない理由

世襲議員にも優秀な人材がいる/実力があれば問題ない

- きちんとした人なら問題ではない（女性）
- その人に素質があれば親から実情を知ることができて良いと考えるから（女性）
- まえもって知識を得ている人間の方が頼りになる（女性）
- やりたくてしているなら問題は無い（女性）
- 受け継いでいくのは大事なことから（男性）
- 真っ当な考えをもち、さらに国民から支持が得られるというのであれば、世襲自体に問題はないとおもつため（男性）
- 世襲しても出世するにはある程度本人の努力が求められるであろうと思うため（男性）
- 世襲も議員の実力によるものだと思うから（女性）

仕方ない/当然のことだから

- それは知名度もあるし仕方ないのでは（女性）
- よくあることだと思うから（男性）
- 議員の子供には議員になりやすい環境に、必然的に置かれているので仕方ないと思うから（女性）
- 経済的な面などで仕方ないと思うから（女性）

親が政治家だから、政治に向いているかもしれない

- 親からしたら子供にも議員を務めてほしいと思うだろうし、親よりも評判の良い議員もいるから（男性）
- 親が国会議員である以上ある程度子供の頃から政界に興味があり、かつ国民からも知名度が高いのだとしたらそれは政治にその人が向いているということであり、それに特に問題はないと思う（男性）
- 親の背中を見て議員を志すことは別に悪くはないと思う（女性）
- 政治について深い知識を有していると考えられるため（男性）
- 国会議員の子供であれば親の姿を見て学んでながら生きてきたと思うから（男性）

【国会議員の世襲についての考えを選んだ理由「自由回答集」】

日本財団公式Webサイトに掲載 https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen_survey/

わからない

どちらがいいか判断できないから

- 現実に選挙が実施されている以上、「世襲」はないとも言うから（男性）
- 一概には問題ではないから（男性）
- 良い国会議員が世襲されればよいが逆なら困るのでどちらとも言えない（男性）
- いい人材もいるから何とも言えない（女性）
- 良し悪しがある（女性）
- 世襲だからといって上の人と同じ考えかどうか分からないしその考えがいいものなのかによるから（女性）
- 議員の仕組みや関係性がよく分からないから（女性）
- 漠然としたイメージしかなく詳しく分からない（女性）
- その言葉をニュースなどではよく聞くが、その内容までを知る機会をがないためわからない（女性）
- ドラマとかをイメージしてしまって現実的な考えが思いつかない（女性）

世襲の問題性を知らなかった

- 初めて聞いた（男性）
- 聞いたことがない（女性）
- その問題について考えたことがない（男性）
- 国会議員の世襲をほぼ知らないから（男性）

能力で判断すべき

- 議員としての資質があれば問題ありませんが、知名度ばかりで能力が無ければ良くないから（男性）
- 世襲してもまともな人もいれば、ただの親の七光りの人もいるから（男性）
- 結果を残している人もいるから（女性）

その他

- 何が正解なのか（女性）
- あまり理解できていないから（女性）
- そのことについて勉強していないから（男性）

※自由回答は原文のままで記載

国会議員になることについての考え

- 全体では、国会議員になりたいと思うかについて「はい」と答えたのは5.4%、「いいえ」と答えたのは94.6%となっている。
- 男性女性を比較すると、男性の方が女性よりも国会議員になりたいと答えた割合が高くなっている。

Q14.あなたは国会議員になりたいと思いますか。（単数回答）（n=1,000）

		(n)	はい	いいえ	(%)
全体		(1000)	5.4	94.6	
Q1.7月の国政選挙の投票 ※18、19歳のみ	行く	(332)	6.3	93.7	
	決めていない	(235)	10.9	99.1	
	行かない	(101)	3.0	97.0	
Q5.直近の国政選挙の投票率	高い	(47)	14.9	85.1	
	これでもいい	(100)	7.0	93.0	
	低い	(619)	5.8	94.2	
	わからない	(234)	1.7	98.3	
Q6.国会議員の定数	増やした方がよい	(48)	12.5	87.5	
	現状でよい	(291)	5.5	94.5	
	減らした方がよい	(385)	6.5	93.5	
	わからない	(276)	2.5	97.5	
Q8.女性議員比率	増えたほうがよい	(585)	6.3	93.7	
	今のままでよい	(158)	7.6	92.4	
	減ったほうがよい	(18)	11.1	88.9	
	わからない	(239)	1.3	98.7	
Q10.高齢多選	問題だ	(579)	6.7	93.3	
	問題ではない	(191)	5.8	94.2	
	わからない	(230)	1.7	98.3	
Q12.世襲	問題だ	(331)	7.6	92.4	
	問題ではない	(161)	8.1	91.9	
	わからない	(508)	3.1	96.9	
Q15.若者の投票率の低いこと	問題だ	(779)	5.4	94.6	
	問題ではない	(88)	8.0	92.0	
	わからない	(133)	3.8	96.2	
性別	男性	(500)	7.6	92.4	
	女性	(500)	3.2	96.8	

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

若者の投票率の低さについての考え

- 全体では、若者の投票率が低いことについて、「問題だ」と思うのは77.9%、「問題ではない」と思うのは8.8%となっている。「わからない」は13.3%である。
- 全体と比較すると、7月の国政選挙の投票に「行く」と考えている人や、直近の国政選挙の投票率が「低い」と感じている人は、若者の投票率が低いことを「問題だ」とする割合が高い。また、女性議員の比率が「増えた方がいい」と考える人や、国会議員の高齢多選を「問題だ」と思う人、国会議員の世襲を「問題だ」と思う人も、若者の投票率が低いことを「問題だ」とする割合が高くなっている。

Q15.若者の投票率が低いことについてどう思いますか。(単数回答) (n=1,000)

		(n)	問題だ	問題ではない	わからない	(%)
全体		(1000)	77.9	8.8	13.3	
Q1.7月の国政選挙の投票 ※18、19歳のみ	行く	(332)	89.2	5.1	5.7	
	決めていない	(235)	70.2	8.1	21.7	
	行かない	(101)	64.4	14.9	20.8	
Q5.直近の国政選挙の投票率	高い	(47)	59.6	25.5	14.9	
	これでもいい	(100)	53.0	30.0	17.0	
	低い	(619)	91.9	3.4	4.7	
	わからない	(234)	55.1	10.7	34.2	
Q6.国会議員の定数	増やした方がよい	(48)	72.9	12.5	14.6	
	現状でよい	(291)	83.5	7.9	8.6	
	減らした方がよい	(385)	82.9	8.8	8.3	
	わからない	(276)	65.9	9.1	25.0	
Q8.女性議員比率	増えたほうがいい	(585)	86.7	6.5	6.8	
	今のままでいい	(158)	72.8	15.8	11.4	
	減ったほうがいい	(18)	61.1	11.1	27.8	
	わからない	(239)	61.1	9.6	29.3	
Q10.高齢多選	問題だ	(579)	85.7	5.7	8.6	
	問題ではない	(191)	71.7	16.8	11.5	
	わからない	(230)	63.5	10.0	26.5	
Q12.世襲	問題だ	(331)	86.1	6.6	7.3	
	問題ではない	(161)	80.1	11.8	8.1	
	わからない	(508)	71.9	9.3	18.9	
Q14.国会議員志望	はい	(54)	77.8	13.0	9.3	
	いいえ	(946)	77.9	8.6	13.5	
性別	男性	(500)	79.2	9.4	11.4	
	女性	(500)	76.6	8.2	15.2	

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

若者が選挙や政治に関心を持つための施策(1/2)

- 若者が選挙や政治に関心を持つための施策として、「高齢者目線の政策が目立ち、若い人は自分たちに政治は目を向けてくれないと思っているから」「若い人のための政治になれば興味を持つ」といった若者向けの政策が立案されること、「政治が自分たちの生活に大きな影響を与えるということをもっと伝える」といった政治を自分事としてとらえる意識改革、「学校の授業で政治を積極的に扱う」といった学校教育の充実についての意見があげられている。

Q16. どうすれば若い人たちが選挙、引いては政治に関心を持つと思いますか。(自由回答) (n=1,000)

若者向けの政策を掲げること

- 高齢者目線の政策が目立ち、若い人は自分たちに政治は目を向けてくれないと思っているから、高等教育無償化の拡充、現状では全く足りていない子育て支援の拡充などを行い、政治は若い人の方を向いているというメッセージを発信すべき(男性)
- 若い人のための政治になれば興味を持つ現時点では若い人は自分に関係ないと思ってる人もいるのをするにも高齢者向けの政策若い人にお金を使ってくれない政府に関心のある人なんかいない(女性)
- 一票が国の政治を動かすと思えるようになれば良いと思う そのために若者が関心を持つような政策を打ち出すとさらに良いと思う(男性)
- 若い人たちにも関係のある政策を押し出す(年金や学校の問題など)(女性)
- 政治家がもっと意欲的で、宣言した政策をきちんとこなし、社会を若い人にとっていい方向に動かすことができるようになるべき。投票したほうがいい、投票すべきだ、と思わないとする(女性)
- 政治がもっと若者に対する政策を打ち出せば良い(男性)
- 人の方を向いているというメッセージを発信すべき(男性)
- 選挙の焦点が若者に直結するテーマにする(男性)
- 若い人達についての問題に触れる(女性)

投票が世の中に影響していることを実感させる

- 一人一人の意見がもっと政治に反映されれば良いと思う。若い人は自分1人が投票しても大して変わらないと思っている傾向にある気がする(女性)
- 自分たちの意見がしっかりと反映されているという実感を得ること(男性)
- 自分たちの意見が反映されることを具体的に示してみたいと思う(女性)
- 自分たちの投票行動で世の中が変わることが体感できる(男性)
- 自分の意見によって日本が変わるといった事をちゃんと伝える(男性)

若者自身が政治への意識や自分事としてとらえること

- 政治が自分たちの生活に大きな影響を与えるということをもっと伝える(女性)
- 選挙に行くことのメリットをもっと分かりやすくかつ見て(聞いて)楽しく感じるように伝えるべき(女性)
- 投票しないと日本がとんでもない国になってしまい、結局辛い思いをするのは自分たちだと自覚させる(女性)
- 日常生活において、具体的にどのような影響が出るのかを知ること。また、そのような問題を考えることが敬遠されたりせず、肯定的に受け入れられる風潮を作っていくこと(女性)
- 複雑なのは仕方ないけど、将来を背負う若者に危機感を持たせるべきだ(女性)
- 現在あるいは未来の経済、行政などが自分自身に影響していることに気付く。その上でたった1票が小さいと思うものの、数票の差で当落選が決まった選挙の例があることから、自分の希望があれば消去法でも構わないので投票に行くべきである(男性)
- 自分の一票が反映されるという自覚を持つこと(女性)
- 選挙に参加することで政治が自分たちを見ていてくれていることを実感できるような取り組みをする(男性)
- 若い人こそこれからの社会を作っていく人なので投票はした方がいいと思います(女性)

教育の充実

- 学校の授業で政治を積極的に扱う。子ども向けの政治解説番組のようなものを放送する。とにかく、子どもの頃から政治に関心を持つような環境を作る(女性)
- 学校の授業がわかりにくく、楽しくないので選挙や政治のことがめんどくさそうなイメージがついていると思う。もっと気軽に学べるようにする(女性)
- 義務教育での選挙シミュレーションや自分ならどのような政策を実施するかを考える授業を設ける(男性)
- 小中高等学校の社会科でもっと現代社会を、特に今現在の政治に絡めた話を充実させるべきだ(女性)
- 授業を受けていても今の政治の仕組みはあまりよく分からないし、関心も持てていない。過去の否定された政治体制や各国の政治体制から学び始めるのではなく、現在の日本の政治を考えていく上で、生徒たちの意見に過去や他国の考え方を重ねていく授業体制を取るべきだ(女性)

【若者が選挙や政治に関心を持つための施策「自由回答集」】

日本財団公式Webサイトに掲載 https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen_survey/

※自由回答は原文のまま記載

若者が選挙や政治に関心を持つための施策(2/2)

- また、「もう少しわかりやすく、若者にも選挙や立候補者について知る機会を増やして」といった声を筆頭に「今の若者はスマホのSNSを利用している人が大半なのでSNSなどを上手く使い選挙の仕組みなどをわかりやすく噛み砕いて説明」といったSNSなど若者に馴染みがある媒体を利用した周知を求める声が多数あがった。
- 投票行動の促進については、「インターネットなどを利用した気軽な投票システムの普及」といったITシステムの活用や、「投票したら大手チェーン店で使えるクーポンがもらえるなどの特典」といった対価を求める声も。

Q16. どうすれば若い人たちが選挙、引いては政治に関心を持つと思いますか。(自由回答) (n=1,000)

候補者や政策を伝える機会を増やす

- まず、政府についてよく知る事が一番大切だと思いました。私も国会議員などの事もよく分からないので何が何だか分からなくてあまり興味もありませんでした。なのでまずは、いろんな人達が知る事から大切だと思います。選挙がどういふものなのかか今どういふ状況なのかか、CMで軽く流したりしてみたりしいろんな人の目につくかもしれないと思います(女性)
- もう少しわかりやすく、若者にも選挙や立候補者について知る機会を増やしていかなければあまり感心は持たれないと思います。今の若者はスマホのSNSを利用している人が大半なのでSNSなどを上手く使い選挙の仕組みなどをわかりやすく噛み砕いて説明、宣伝をしていき自然と選挙が日常に入ってくるように工夫をすることで関心を持たれるのではないかと思う(女性)
- もっとわかりやすく簡単な言葉で選挙公約などを話す。ネットなどで簡単に党別に一覧で情報をいろいろ見れるようにしたい(女性)
- もっとわかり易さを重視したやり方を取り入れたり、あとは実際に会場へ向くシステムを無くして、より投票しやすい環境を作るべきだと思う(男性)
- 候補者や政党が自分たちはこういうことをしますというように分かりやすく、詳しく説明して各々の立場を明らかにすれば良いと思う(男性)
- 若者と選挙や政治に関わる場が少なすぎるのが問題。若者に伝わりやすい方法で伝えるべき。例えば政治の硬いイメージを払拭することが重要である(男性)
- 政治の内容を難しいと思っている以上、興味、関心を持たせるのは非常に難しいと思う。そのため、その時々立候補者のプロフィールや政治についてわかりやすくまとめたサイトなど作るべき(女性)

投票による対価

- 投票したら大手チェーン店で使えるクーポンがもらえるなどの特典がある(女性)
- 投票すると、ノベルティプレゼント(女性)
- 投票にポイントをつけ、数年ごとに特典が与えられる方式(女性)
- 投票に行くと図書カードなどが貰えると行きたくなる(女性)
- テレビで詳しく政治の仕組みについて放送する。YouTubeで宣伝をする。テレビ番組などで、有名なアイドルや芸能人が政治について教える。投票することで何かプレゼントがもらえるなど、キャンペーンを行う(女性)
- 選挙に行きたくない、行きやすくするべき。例えば、投票しにいけば、献血後のようにお菓子が貰えたり、全国民へのバラマキを考えてお金(商品券)がもらえたりするようにして、行きたくなくなるようにするべき。また、投票出来る場所を駅や会社に設けるなど、ついでに投票出来るようにするべきだと思う。政治に興味を持たせるには、もっとわかりやすく説明するようなテレビや大学での講義をする必要があると考える。ネットでの投票は反対。選挙をそんな重みのないものにして欲しくない(男性)

【若者が選挙や政治に関心を持つための施策「自由回答集」】

日本財団公式webサイトに掲載 https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen_survey/

インターネットやSNSを活用する

- SNSの配信をもっと増やすべき若者は、ツイッターやインスタグラムなどの利用が非常に高い。そこに、選挙や政治について浅くでも記入してあれば少しは関心を持つと思う(男性)
- SNSを通して自分たちが選挙に行かないとどうなるかを若者から発信して行かなくてはならないと思う。あえて若者自身から伝えることでより説得力がまし、危機感を感じる効果が期待できるから(男性)
- インスタやツイッターをつかい官邸の様子を伝えている様に、SNS上でのPRに力を入れるべき。選挙カーは騒音だと思ふ人が多いため控えるべき(女性)
- インターネットなどの若者が多く利用するツールを使って選挙活動を行ったり、若者にもわかりやすいように政治の用語などをニュースで説明すれば関心は高まると思う(女性)
- 若い人たちが日頃使うネットツールで選挙活動を行えば良い。Youtube, LINE, Twitter, Instagram 他にも色々あるでしょう。しかし堅苦しい話だけではスルーされてしまいます。ユーモアもそれなりに必要でしょうね(女性)
- 大統領選のトランプとクリントンのようにインターネットで政治家同士の討論会をすればその人たちの本心が見えてくるので誰に投票したらいいか決断しやす。ネットで投票できるようにしてほしい(男性)

投票しやすくする

- インターネットなどを利用した気軽な投票システムの普及と、投票が国政・ひいては生活にフィードバックされるといふ実感が必要だと感じます(男性)
- ネット投票を解禁する(男性)
- コンビニでも投票できるようにする(男性)
- スマートフォンでも投票ができるようになれば選挙に投票するようになり、若い人でも分かる政策を示せば政治に関心を持つと思う(男性)
- もっと気軽に投票できるシステムを作るといいと思う(女性)
- 学校の帰り際に投票できるようにする(男性)
- 学校で選挙を行うなど、楽に行けるようになれば良いと思う。選挙会場が遠かったり、予定があったり。事前投票をわざわざしようともならない気がする。政治については諦めが強く、関心を持つことが難しいのだと思う。まだ良い人が居ると思えば関心を持ったり、選挙に行くようになっただけでも嬉しいかもしれない(女性)
- 投票日を増やす。投票できる場所を増やす。大学生なら大学内で投票できるようにすれば投票率は格段に上がると思う(女性)

※自由回答は原文のまま記載